



平成30年3月22日

## 岡山大学病院が「がんゲノム医療中核病院」に選定

岡山大学病院は厚生労働大臣の指定を受け、4月から「がんゲノム医療中核拠点病院」をスタートします。がんゲノム医療中核拠点病院は、新しいがん治療として国が導入をすすめている「がんゲノム医療」を実施する施設として2月14日に選定されたもので、がんをはじめとするさまざまな病気の遺伝子検査や治療法の選定などを担当する中心的な医療機関であり、研究や新薬開発、がんゲノム医療に携わる人材育成の役割も担います。

### <概要>

ゲノムの異常である「がん」に対する有効な治療を行うためには、患者さんの個々のがんのゲノム異常に基づいた治療法が有効であることが知られています。岡山大学病院は平成27年より専門外来として「抗がん剤適応遺伝子検査外来」を開設し、また平成29年12月には教育研究施設の一部門として「ゲノム医療総合推進センター」を立ち上げ、がんゲノム医療に取り組んできました。

がんゲノム医療中核拠点病院は、がんゲノム医療を全国的に実施するため厚生労働省の検討会が選定したもので、岡山大学病院を含め、北海道大学病院、東北大学病院、国立がん研究センター東病院、慶応大学病院、東京大学病院、国立がん研究センター中央病院、名古屋大学病院、京都大学病院、大阪大学病院、九州大学病院の11施設が選定されました。

今後、がんゲノム医療中核拠点病院としての岡山大学病院は、これまでの経験を活かし、指定する複数の「がんゲノム医療連携病院」とともに、がんゲノム医療を積極的に推進していきます。

### ●がんゲノム医療中核拠点病院等の指定に関する検討会

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000194377.html>

### <お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

呼吸器・乳腺内分泌外科学

教授 豊岡 伸一

(電話番号) 086-235-7262